

# ／／ 全ては入居者様のために！！ 2018年 8月1日、待望の特別養護老人ホーム ムネだざいふ、堂々オープン！

～「ムネだざいふ」の取り組み、および施設の様子をご紹介します。～



宿泊室



ロビー／オブジェ



明るい談話スペース



開放感のある居室



ロビー／ソファと装飾



ゆっくり寛げる食堂

**現在は、どんな取り組みをされていますか。**  
当施設には、介護士、看護師、機能訓練指導員、栄養士、相談員が在籍しています。  
これらの幅広い視点で入居者様やご家族様と関わって参りますが、当施設での生活にご安心

**いま、老人ホームには、何が求められているのでしょうか。**  
法改正が行われ、地域ケアのありかたです。地域包括ケアシステムというものが、大変注目され、どこの市町村でも取組んでいる所ですが、特別養護老人ホームというものは、地域包括ケアシ

**ムネだざいふの理念や目標をお聞かせください。**  
全ては入居者様のために、というコンセプトをもとに、この太宰府という地域で、いかに介護を必要とされている方々のために取り組めるかに重点を置いており、そういった輪をどんどん広げて、大きくしていく事が目標です。

**地域の輪を広げていきたい**  
頂けるよう、各々の役割を担う仕組みを行っています。  
それに伴い、「全ては入居者様のために」の思想を具体化すべく、より個性の高い支援を提供出来るよう、各部の支援や連携の強化を図っているところです。

**オープンしたばかりの施設ムネだざいふについて、施設長の林田 英樹さんにお話を伺いました。**  
**ムネだざいふはどのような施設ですか？**  
私達は、「ムネだざいふ」を開かれた施設にしていきたいと考えています。太宰府という地域性もあるかと思いますが、もとも特別養護老人ホームと呼ばれるものは、昔からのイメージが強いのか、外から見ているとどんな事を行っている施設なのか、不透明なところがあるようです。  
ですから、逆にそういった部分を透明性を持って地域に開かれた施設にしていきたい。特別養護老人ホームという特性を活かして、地域ケアの中で、つの役割を担って行ける様な施設になればと思います。入居の対象となるのは、要介護3～5の方です。要介護1～2の方のご相談もお受けしております。

**読者へひと言お願いします。**  
介護を必要とされている方や、そのご家族のために、私達の役目があると考えています。いろんな困りごとやご相談があれば、気兼ねなくお話に来てください。また、お電話でも結構ですので、是非お問い合わせください。

システムの中心でも、一番安定している部分にあると思うんです。  
介護の世界で、よく言われる言葉で、この言い方はあまり好きではないのですが、老人ホームは最後の砦と言われています。在宅で生活ができない方が、入居される施設という側面がありますので、特別養護老人ホームは最後の砦として、地域包括ケアシステムの中心的存在として、必要性があるのではないかと思います。また、そういう存在になって行かなくてはならないのだと考えています。

**運営主体** 社会福祉法人 レーヴ福岡

**関連施設**  
特別養護老人ホーム ムネしんぼう  
糟屋郡新宮町立花口2176-185

障がい者多機能型施設 立花園  
糟屋郡新宮町立花口2171-2

軽費老人ホーム ケアハウスひかり  
田川郡福智町伊方2450-19

特別養護老人ホーム **ムネだざいふ**  
お問い合わせ 住所／太宰府市内山492-5  
**TEL 092-918-3005** (担当林田)



居室入り口



共用トイレ



機械浴



パブリックスペース／天井